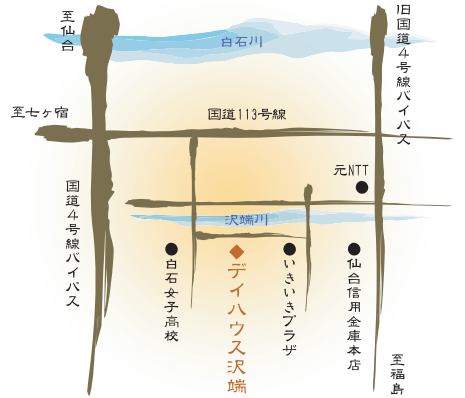


デイハウス さわばた

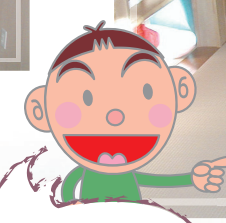
通所介護計画に基づき、自立した日常生活を営むことが出来るように配慮し、世話及び機能訓練を適切に提供します。また孤独感の解消、ご家族の介護負担の軽減を図ります。



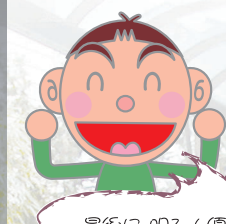
外観



ゴールド興産様
美肌マグマ温泉玉使用「空中露天風呂」

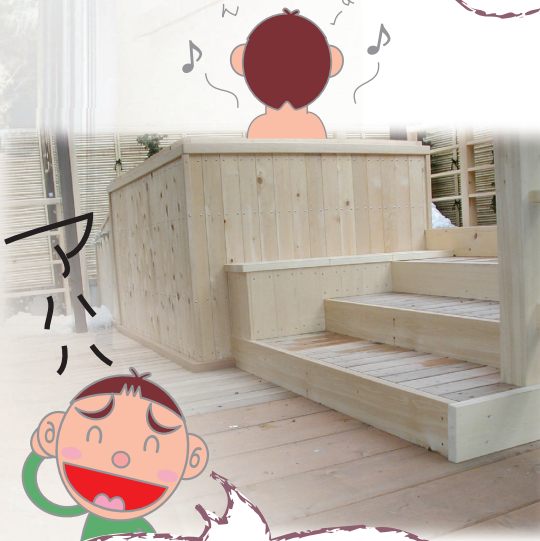


今では珍しくお母さんは、
気の合うお友達と飲んで
楽しい会話が弾みますね。



最後に、明るく優しいスタッフの
皆さんに、意気込みを聞きまわつた。

初めまして、健康な旦那でつ、
昨年11月にオープンした
足端さんにおじゃましました。



あせらずゆつくり行こう長い道、
生れたばかりのデイハウス足端へ
職員一同より



臭苦しいところ揺られたでつ、
ミネラルイオン&ゲルマニウムイオン
を含んでいるお風呂は、
疲れた体を癒してくれました。



軽い運動や身体を動かす趣味
など自由にできるプレイルーム

デイサービス

デイハウス
Day House SAWABATA
さわばた

- 開設者
(有)ジータイム
代表者 阿部正一
- 事業内容
要介護状態にある高齢者に対し、適切な通所介護のサービスを提供します。
- 勤務態勢
管理者(業務管理を一元的に行う)・・・1名
生活相談員(通所介護計画書作成・日常生活の相談及び指導)・・・1名
介護職・・・2名
看護職・・・4名
機能訓練指導員(看護職兼務)・・・2名
- 営業日及び時間
12/31～1/3を除く毎日
- 通所介護の内容
1.生活指導
2.機能訓練
3.入浴サービス4.食事サービス
- 利用料及びその他の費用
厚生労働大臣が定める基準の1割の額。
食料費500円、レクリエーション材料費(実費)
- 緊急時等の(事故含む)における対応
病状の急変、その他の緊急事態が生じた時は、速やかに主治医、協力医療機関及び家族に連絡等の措置を講ずる。
- 苦情(相談)の対応
気軽に苦情や意見を言えるような雰囲気作りを心がける。また、気まづくならないように配慮します。
- 住所
〒989-0277
宮城県白石市沢端町5-22
(銭谷医院敷地内)
TEL 0224-22-2781
FAX 0224-22-2782

妻理佳さん
楽しく明るいサービスを提供できるよう努力します。

阿部和子さん
健康に気を配り、充実した1日過ごして頂きたいと思っております。

大庭良子さん
どなたにも愛されるデイサービスにしていきたいです。

大知とも子さん
ゲルマニウムを含む風呂としても良いですよ。真心を込めて介護のお手伝いを致します。



新年あけましておめでとうございます。
皆様にとりまして
今年も素晴らしい年になりますように・・・
どりーむ堂



新年あけましておめでとうございます
おめでとうございます

年も気持ちも改まる新年は、何か新しいことを始めたくありませんか。たとえば、健康維持のために今年こそはダイエットを成功させる！
良く聞くお話を。

私も「どりーむ堂」は楽天インターネットショップを通じて、皆様の快適で安全で健康的な生活に役立つ厳選品を「紹介させていただきます」。
「おもしろい製品だ」と思ったのが第一印象です。なんとも情けない話ですが当初の私の認識は、酸素は水と同様に人体にはなくてはならないもの、この程度。数多あるサプリメントの中で「これは究極！」と思いついたのが「どりーむ堂」です！様々なお客様の質問に答えていくうちに「徐々に胸を張って紹介できるようなになりました。毎月集計するお客様の人気商品ランキングでも常に上位を維持する製品となり、今では「愛飲者も増え、それぞれの味が様々な飲用目的で自由に飲用されている」といいます。中には、「飲酒の前には必ず飲む」という方がいらつしやう。聞けば「どうやら、二日酔いに効果があるのだ」とのこと。飲み過ぎが心配ない健康補助食品ですから、かしまつて飲むこともないのだと、日々私の方が新しい発見をさせていただいております。

また、インターネットショップの利点は日本のみならず、世界中のお客様に接する機会に恵まれていること。昨年は中国・韓国のお客様より大変好評をいただき、日本でしか販売していないのが残念とまでおられました。今後は、このような機会を積極的に利用し、海外においても「食べる酸素」が注目を集める大ヒット製品になるよう、微力ながら御協力させていただきます。

健康のためには食生活、運動、ストレスを溜めない生活などが大切と聞きます。しかし簡単なようで難しい現代社会に生きる人々にとって、救世主となるのが「食べる酸素」なのではないかと思っております。私自身この冬は、風邪もひかず、微妙なバランスで健康を維持できている「食べる酸素」のおかげと強く実感しています。

株式会社 ドゥリーム・ドゥ
企画開発担当 海外事業部長 三友 礼子

私の履歴書

流れ流れて終戦後六〇年、
よくぞ、生き抜いたと思う！

毎年、年の初めに「なまじり父と母へ語りかける今日であります。明治19年生まれの父、30年生まれの母、生まれは二人とも山形県米沢市、其の郊外。当時の満蒙に日本ありで、両親の若き日は朝鮮から引き寄せられた。そして旧満洲支那「現在のこの使方は禁止されている。英語ではSM」といって残っているが、やはり、其の血を継いだのか、歴史と運命がそうさせる業か、現在朝鮮「北朝鮮の元、雄基、現在、先鋒「ソンボン」、から、旧満洲を追い、そして、北京の北承徳県、さらには、錦州、楊家文子、子供心に思いつく場所を追いかけつづ、25年60%の地域を、自分の手弁当で回り、残りところ、40%であろうか、偶然、3年前に、台湾の台北市の総督府で、276枚の旧総督府設置来の写真の中に、父を見たときは、びっくり仰天、「父が親交在りし日の、蒋介石總統と写真に納まっていた」。歴史は語るではないが、2004年12月27日、なんと今思いが韓国に向き、記憶に薄いが、母と来た「当時大邱市、姉が中学の教員をしていたをたずね、其の後釜山郊外の温泉に昭和16年64年前の1941年」が思い出しにあり、尋ねることとした。結果は、やっと現地で見つけた。東萊温泉だ。当時、ひびひびと、生れればじめての温泉で、興奮して、飛び込んだのを覚えている。望美楼が自印となりました。半島温泉がありまして、風雪に耐えた、唯一の寺の門だけでした。実際、泊まったのは、海雲台「ヘンデ温泉」跡形ないくらい近代化が、かかっている温泉で、多くの日本人の若者達でにぎわっております。青社社長の御紹介の李憲達氏とお会いいたしました。本年71歳とか、当時の日本の尋常小学校の教育を受けており、まさに日本人より日本人らしい礼節がありました。幸先、小生が年上と分かる、常に先立ち、小生を先導、著一持つのも、小生が先、久しぶりに日本人らしい人にお会いできたの



には驚きでした。戦後60年の韓国と日本をわたり、儒教の精神は今も生きており、また、盛り上がりカラオケへ「初日」、ここで本人が教え込まれた軍歌が12曲も出て、此方はむしろ辟易、しかし本人にしたら、いい悪いは別として、意味も分からず強制で教え込まれたのでした。軍人勅語、五か条のご誓文、君が代、これらの歌の意味を聞かされて、二度びっくり。戦後に重ねて、1950年の朝鮮戦争を潜り抜け、韓国人たちの過去を聞かされた。北朝鮮の問題に触れてみたが、韓国では拉致被害者は数千人と言われている。どうしてこうも日本の捉え方は、歴史観を反映してないのかと、だから国際的にも認識が甘いのではないかと。確かにそうであろう。過去戦前、北朝鮮で、日本の軍艦が、朝鮮総督府の施政の悪から犠牲になった人は、一概には統計がないが、数千人と言われている。さらに日本へ連行されて犠牲になった人は数千人である。これが、戦後の賠償もなされてない北朝鮮から見たら、極く当たり前の仕返しと見られても仕方がない。現実、犠牲になった親兄弟には申し訳ないが、また、戦争状態にある、北朝鮮に其れをもとめて、はたして、どうなるのだろうか。数十人の拉致被害者と家族は、現実、経済制裁ですむとも思うのだろうか。現在世界で、毎日、殺戮の行のわれるパレスチナ、イラク、アフガニスタン、数々の民族闘争の中で意味もなく、訳もなくだだ殺され続けている人々たちの思いは、これらの拉致被害者のさらにさらに上レベルで、全世界で厳しく語られているのだが、はたして、解決の糸口は、この歴史認識にもつかぬと、繰り返す時間と、貴重なお金、さらには人的被害をもっとおさくするだろうと、韓国人は見えていますよ。

あまりの低い日本の民衆の歴史認識は、そこかしこにあります。海外での商売の仕方、交渉の仕方、其んな間で、もっとも活躍しているのが、優れた文化人であろうか、隠れた存在のその人々、ポラニティアの人たちである。文化交流は、日本人がもっとも誇つていい、現実の姿である。くわえて、せいぜいほめられる政府の政策は数ある。また、膨大な世界一のODA援助基金であり、その中でほめられるかす少ないケースであろうか、かなりが無駄使いで終わっている。

二泊三日の、短い韓国滞在、しかしほっとするのは、いつも親切な地下鉄の中の人々の年長者への思いやり、今回も3度、席を譲られていた。日本ではありえぬ光景で、教育の実態を反映しているように思う。子供「小学生、中学生、高校生を含めて」の服装は清潔、質素に見えてならない。日本の「そこかしこ」の見苦しい格好の学生には、めったにお目にかかれない。これは台湾、中国、SINGAPORE、HONGKONGでもそうであった。戦後の世界をリードしてきた日本は今、曲がり角に来ているのかもしれない。学生の知識レベルも、数々のジャンルで、世界で、色々あるが、大体10番以下であるようだ。家族、会社、地域社会、国レベルをもっともっと上げて行く、必要に迫られて久しいが、こうやって、世界をおおよそ150カ国回って見てきた私にしたら、この50年の世界絵巻の中の、日本がだんだん小さくなるように、心配である。それとも、このちっぽけな国が、あまりに身の程知らずにやりすぎたのか、思いすぎているのか、それとも又、飽食の世界で、苦しさ、助け合い、相互扶助の精神を忘れ去ったのか、極く、最近では、会社の中でさえも、厳しさ、自己改革精神、耐えること、人に必要な影響を及ぼすことすらもできぬ世代化、世界化に入っているように思える。

話は変わるが、昨夜、アメリカの甥たちと話したが、生れ落ちて育ったアメリカ人だが「日本人とドイツ人の混血」其れでさえも、よく分からぬままだが、「見てみる」日本は、親子殺人と、理不尽な強盗、詐欺、おれおれ詐欺はアメリカで喧伝されており、馬鹿げているとの一言である。《に対処する日本人の、自己防衛、自己義務、自己主張のなさは不思議とのことである。さすがアメリカ人、日本には住みたくない「母親の国だ」が。しかし、日本とアメリカの両国が世界の平和と、協調に貢献することは、必須、これしかない。

又々、1月に上の甥とは、ジョンウエイン空港で会えそうである。子供の名前もジョウウエイ、とモーゼで、どちらも、聖書の中から取っている。生れ落ちてから見ている生い立ちがいずれも、今でも可愛い存在で、そして、愛されていると自分で思っている一杯でもあるのでおめでたい。